

令和4年度 境港市第三中学校区 学校運営協議会(第1回)  
兼 令和4年度 境港市第三中学校区関係者評価委員会(第1回)記録

日時 令和4年5月10日(火) 15:00~17:15  
場所 ふれあい会館  
進行 進行：森野(渡小) 記録：岡田, 高橋(外江小)  
参加者 ※別紙参照  
(※訂正 三好伸作 外江地区連合自治会長→自治会長)

※敬称略

1 辞令書配布(事務局長)

- ・資料の訂正部分と予定変更(授業参観の中止)の説明
- ・新年度の辞令書の確認

2 開会挨拶(前会長あいさつ)

コロナウイルスの関係で1回中止の会もあったが、4回の会を開いた。

「あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくり」というテーマのもと、あいさつ運動に各校地域と連携しながら取り組むことができた。朝、中学生が小学校に来て挨拶を行うなどの連携はよかった。また、ケヤキ並木清掃へも部活単位で中学生が参加する等、たくさんの方がコミュニティ・スクールを認知し、地域のために貢献しようとする人が増えてきた。小学生もたくさん親子で参加してくれた。こういう地道なことを続けることが大切であると感じる。公民館の会議の中でも、CSをしっかりと活動の中に位置付けて取り組んでいこうという事が共通理解されている。今後もいろいろな面で一人一人がCSの活動に参加できるような環境をつくっていくことが必要である。

3 委員自己紹介及び令和4年度会長・副会長選出

<自己紹介>

- ・市教委から松田寛彦統括コーディネーター, 生涯学習課 平松俊介主任 参加
- ・第二中校学校区学校運営協議会より小笠原学校・地域コーディネーター, 足穂会長 傍聴として参加

<令和4年度会長・副会長選出>

令和4年度 会長：三好 伸作 副会長：早川 輝彦 全員承認

※立候補者はなく、早川前会長からの提案を全員が承認。

4 令和4年度新会長及び新副会長挨拶

会長挨拶

- ・いまだに何をしているか分からない部分はあるが、前教育長と話し合う中で、地域に必要な会であることは認識している。

新型コロナウイルスの影響で会が中止になったり、計画が変更されることがあったりして、本来なら会を重ねて具体的な活動が盛り上がっているはずであるが、実際に運営するのに難しい状況で

はある。やれることは残されているのではないかと思う。しっかりやれることをみんなで検討して取り組んでいきたいと考える。

#### 副会長挨拶

- ・コロナ禍で難しい状況だが、会長が考えることを補佐しながら、がんばって取り組んでいきたいと考える。

#### 5 境港市学校運営協議会設置等に関する規則

及び境港市第三中学校区学校運営協議会設置要綱について

(統括コーディネーター)

※別紙参照 (P2～7)

- ・「境港市学校運営協議会設置等に関する規則」についてと「設置するまでのいきさつ」などについての説明
- ・特に第2条が重要。学校への支援の在り方をしっかり検討して行ってほしい。
- ・委員の皆様は、非常勤の公務員という扱いになるので、守秘義務等がある。

#### 6 令和3年度を取組と振り返り

(※別紙参照 資料④)

(前会長)

- ・めざす子どもの姿(4観点)を年度当初確認して、テーマを「あいさつの響き合う学校・家庭・地域」と設定してPDCAの流れでできるように取り組んだ。
- ・冒頭の挨拶でもお話ししたように、あいさつについては、中学校が部活単位で取り組むなどの成果がみられた。
- ・ケヤキ並木清掃についても参加者も増えて、地域に貢献しようとする人が増えているなどの嬉しい傾向がみられる。
- ・中学生との熟議の中で、大人と中学生の思いをすり合わせる中で、中学生が地域に目を向けるきっかけにもなったのではないかと考える。それが、小学校に出かけてあいさつをするなどの具体的な活動に結びついていき、とてもよかった。こういう活動を継続していきたい。そのためには、熟議をしていく必要がある。
- ・いろいろなことを単年度で終わらず、継続して行うことが重要であると考えている。

(前事務局長)

- ・補足としてめざす子どもの姿(4観点)は、準備段階の時(約4年前)に作成したものである。子どもの姿を見てもらいながら、これでよいのか検討していく必要がある。
- ・しかし、今年度の三中校区のビジョンや各校の学校経営方針は、この4観点をもとに作成されているので、委員の皆様には、そういう視点でこれから説明があるビジョンや経営方針をみていただきたい。
- ・昨年度に、ようやく中学生も参加して熟議ができた。参加した大人も中学生も、様々な感想を持ち、とても有意義な話し合いになったと感じる。
- ・(専門部の取組について)2年前に作成したが、コロナ禍で中々昨日できない状態であったので、

昨年度は「あいさつ」というテーマで絞って、取り組んだ。

子ども達を支える視点としては、この専門部の視点は必要であると考えている。

(事務局長)

- ・昨年度の活動報告と、振り返りについての説明 (※別紙資料参照 P10 ～P14)

## 7 令和4年度の第三中学校区教育ビジョン

及び各学校運営基本方針の説明

### <第三中学校区小・中学校教育連携ビジョン>

(外江小校長) (※別紙参照 P15)

- ・コロナ禍で活動を進めていくのが難しい状況ではあったが、各校で地域の方が学校に来ていただき、子どもたちの学習を支えていただくことはできた。
- ・しかし、三中校区全体で考えると、まだ十分に活動に取り組めてはいない。
- ・めざす子どもの姿(4観点)を9年間見通しためざす子どもの姿に盛り込んでいる。
- ・令和4年度のテーマも昨年度と同様に「あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくり」と設定している。

### <第三中学校 学校経営方針>

(三中校長) (※別紙参照 P16～17)

- ・教育目標にある「自分に対する信頼を高める」について、自分が周りに認められていることを伝えられ、そしてそのことを自分自身が実感できるのかによって自分に対する信頼が高まると考える。そのことが、がんばりや他者への優しさにつながっていく。
- ・本来ならば、親子の間で育むところでもあるが、十分ではない実態があり、三中生徒の課題でもある。友達、教師に認められる場面を学校現場でたくさんつくっていく。
- ・地域との関わりについては、総合的な学習1年：地域を知る 2年：地域を体験する 3年：地域について考える と各学年に設定して取り組んでいく。

### <渡小学校 学校経営方針>

(渡小校長) (※別紙参照 P18)

- ・学校教育目標は変わらないが、～目標の実現に向け、自ら考え、仲間と共に粘り強く挑戦する児童の育成～今年度から設定した。
- ・子どもたちが、将来社会に出た時によりよく生きていってほしいという願いを持っている。社会の状況に合わせて、教育もGIGAスクールで一人一台の端末など、急速に変化してきている。将来に向けての力を身に付けさせていく必要がある。
- ・人間ならではの力を育てていくことが、学校現場ではますます必要になってくる。
- ・自分で考えて表現したり、判断したりする力、いろいろな価値観を持った他者と力を合わせていく力、自分で課題を見つけて解決する力、そういった力を小学校段階から育てていくことが必要となってくる。
- ・「つながり」がキーワード。「つながり」がうまくいかなければ、いろいろな課題が出てくる。逆に「つながり」がうまくいけば、とてもよい環境をつくることができる。そのためには、つながりのある教育活動を行わなければいけない。

- ・校内の教員同士の学び合いの促進。教員の授業力向上。子どもたちが考える授業づくり。
- ・体験活動，様々な方との交流も大切なポイントである。「ななめの関係」を大事にしたい（ex 地域のおじさん，友達の親等）。

#### <外江小学校 学校経営方針>

（外江小校長）（※別紙参照 P19）

- ・境港市学校教育の指針に基づいて第三中学校区小・中学校の目指す子ども像があり，それを受けて本校の目指す子ども像や目標が設定されている。
- ・本年度の学校教育目標「夢と希望に向かい」について，夢や希望を見つけられない子どももいる中で，自分で夢や希望を見つけられることを大事にしたい。
- ・3つのあい〜つながりあい 学びあい 高めあい〜は職員の活動においても，子どもたちの活動においてもしっかり定着させたいキーワードである。
- ・つながりにおいては，「人」「もの」「こと」いろいろなものにつなげていきたい。
- ・「学びのふるさと外江」でたくさんの「人」と「もの」と「こと」とつながって一人一人の子どもの学びを深めていきたい。
- ・地域の中で学ぶことの大切さを強く感じている。高梨地域学校コーディネーターにつないでいただきながら，総合的な学習で地域の様々な方と出会い，子どもたちの学びは豊かになってきている。そこから，自分たちで学習を創るという意欲的な姿が見られるようになってきた。

#### 8 質疑応答及び承認

（委員A）

- ・「インクルーシブ教育」「ダイバーシティ」などの解説を。

（三中校長）インクルーシブ教育：障がいのあるなしに関わらず，みんなが同じ空間の中で教育を享受すること。ダイバーシティ：多様性 という意味です。

（地域学校コーディネーター）

- ・2つの園での経営方針も聞かせていただければ。

（外江保育園園長）

- ・年長児が小さい子のお世話をしたり，教えたり昔は当たり前前の光景であった，大きい子が小さい子を見るのが日常的に行われている。
- ・一人一人特徴を持ったお子さんが集まっている。それを園児一人一人がどのように関わるのか，自分で実体験して感じながら学んでいくことを大切にしている。
- ・危険なこと以外は，否定文を使わないで，自分の気持ちが言えるような環境づくりに努めている。
- ・子育てがよいなと保護者が思えるように，園としては支援していきたい。
- ・自分が大好き，自分に自信をもって話ができるようにして小学校につなげていきたい。

（わたり保育園園長）

- ・昨年度は，「健康な心と体」を重点目標に設定して取り組んできた。様々な活動を家庭と連携しながら行い，成果を挙げることができた。
- ・今年度は「自分で考える力を育む」を重点目標にして取り組む。一人一人の園児が自分を認めても

らっているという保育士との信頼関係づくり，人権の観点からの保育環境づくりに取り組んでいきたい。

- ・一人一人の遊びを保障することと，子どもたち自身が工夫して発展できるような環境づくりに心がけていきたい。
- ・人と関わる時に，気持ちよく過ごせるためのきまりや関わり方を子ども達に考えさせていきたい。
- ・基本的な生活習慣も家庭と連携しながら，定着できるようにしていきたい。
- ・感染予防に留意しながら異年齢の関わりを推進していきたい。

(委員A)

- ・三中のあいさつ運動に参加しているが，あいさつが難しい子がいる。コロナ禍で楽しくないと訴える子も多くいる。先生や親にも言いづらいことを言える受け皿になればと思う。SNSでボランティアをしたいという子がいる。そういった子の力を地域の活動につなげていければとも考える。また，こういった顔と顔がわかる地域の関わりが増えれば，よいと思う。声かけの仕方も工夫しながら，子ども達の相談にのれる存在になっていきたいと考える。

(前事務局長)

- ・三校共通しているのは，4つの観点を各学校の経営にしっかり含めていこうというものであった。その中で，「つながり」ということが特に，たくさん出てきた（園の説明においても）。もともと，あいさつをテーマにしたのは，顔と顔がわかる，名前と名前が分かる，というつながりを大事にしたいという思いからである。この1年間のあいさつの活動を通して，つながりの大切さをさらに強めることになったのかとも考えられる。
- ・そうやって考えると，いろいろな「つながり」が考えられていく。限られた回数や運営協議会ですべてを話し合うのは難しいかもしれないが，各校や地域に持ち帰ってもらって動けるところから実際にやってみると，ステップアップした取り組みになるのでは，と思う。

<令和4年度の第三中学校区教育ビジョン及び各学校運営基本方針の承認>

- ・全員承認

## 9 年間計画について

(※別紙参照 P20)

(前事務局長)

- ・本来は昨年度の最後の会で確認すべき内容であるが，新型コロナウイルスの感染予防のためにできなかったもので，今回に確認していただきます。
- ・細かい内容の修正は，事務局で行うが大まかな計画を確認してほしい。

(事務局長)

- ・今年度の年間計画の説明。

## 10 その他

(事務局長)

- ・昨年度の振り返りや評価アンケートの項目等についての説明 (※別紙参照 P21)

(前事務局長)

- ・アンケートを基に、校長先生方に成果と課題をまとめていただいた。これを前回中止になった会で話し合いたかった（※別紙参照 P11～）。次年度に活かしていくためにも、今年度の活動に円滑につなげていくためにも必要な会であった。

(委員 B)

- ・振り返りをしっかりやりたかった。せっかく良い意見がたくさん出ているので。話し合う場が欲しい。⇒事務局で検討、次回に話し合いの場をつくる。
- ・保護者に CS が浸透していない。コミュニティ・スクールは理解しづらい。何をどのように伝えていいのかわからない。のぼりや動画をつくってみては等を考えてみた。もっと具体的に動けるための検討する場が必要なのでは。

(統括コーディネーター)

- ・こんなことができるといいな、という具体的な取り組みを意見として出してもらってはどうか。

(委員 C)

- ・コロナ禍で、生きづらさを感じている子どもの気持ちを聞いてあげる機会を設けてあげることができないだろうか。この 3 年間で、経験できていたはずのことができていない子どもの声を聞いてあげる機会は大切だと考える。

(外江保育園園長)

- ・保育園はスキンシップが大切な場であるがコロナ対応のため、日々いろいろな活動にたくさんの制限が加えられている。日々ストレスを感じているはずなので、子どもの生の声を聴いてあげるとは必要。
- ・小・中学校で自殺者が増えていると聞く、そういう場を設けてあげることが大切なのではないかと考える。

(地域学校コーディネーター)

- ・必ず集まらなくても、聴くことはできると思うので、良いアイデアがあれば出していただきたい。

(公民館館長)

- ・6 月 12 日に中海の一斉清掃がある。小・中学校で参加できる子がいると思う。各校で声をかけてほしい。地域貢献のよい場になると思う。(希望者 5 / 3 1)

(委員 B)

- ・おやじの会で子どもたちのために、何かしたいと考えている。

(前事務局長)

- ・いつ、だれが、どこで、を子どものニーズに合致すればできるのでは。PTA なのかおやじの会がするのか、それは内容によるのではないかと考える。必ずしも学校が主になってやっていく必要はない。いろいろなところで、いろいろな企画が考えられる。

(委員 B)

- ・自分たちが楽しくて、それに子ども達を混ぜていくことも考えていいのでは、例えばバーベキューなどの様に。楽しそうじゃないと集まりにくいのではないのでしょうか。

(前事務局長)

- ・各校の PTA に 2 万ずつ予算はついているが。

(統括コーディネーター)

- ・地域の人達とつながっている機会は今でもある。公民館祭など、そこをもっと盛り上げていくことも考えられる。

(前事務局長)

- ・何か計画がある場合、事務局に相談かけてほしい。

(委員 A)

- ・あいさつ運動について PTA も参加して頂くと、さらに盛り上がるのでは。

(委員 B)

- ・今は決まった人しか行けない。10 日に限らず、行けるようにしては。防犯や駐車場の受け入れの問題もあるが。

(地域学校コーディネーター)

- ・何のために、この活動をしているかを知らせることも必要では。

## 1 1 閉会挨拶

(会長)

- ・たくさん意見が出されて、とても活発な議論となった。今日、改めて感じるのは「つながり」の大切さである。各校の経営方針にも、皆様の意見からもこの「つながり」に関する意見や質問がたくさん出されていた。ここを大切に作る会であることを再認識した。
- ・また、途中の話にもあったようにいろいろなアイデアや意見が出てきて、それを吟味していくためには、年間のこの話し合いの回数では足りない。もっと集まる機会をつくる必要がある。
- ・みんなで責任をもって本気でやっていきましょう。